

ららばい通信

Lullaby News

2018年

夏号

特集 「子守唄」

..... [目次]

- 新理事長ごあいさつ
「母からのバトンを受けて」 井上 麻矢
- 「人の力を考えたい」 西館 好子 ……1
- 対談
「子守唄を次世代に伝えたい」 西館 好子・井上 麻矢 ……2
- 特集
「世界の子供は子守歌で育つ」 吹浦 忠正 ……4
- 特集
「聖徳太子と子守唄」 西館 好子 ……6
- 連載 絵解き
「風流子ども歳時記」～江戸天下祭りの巻～ 尾原 昭夫 ……8
- 連載 世界子守唄紀行
第20回「シリアの子守唄」 鶴野 祐介 ……12
- 「野口雨情と童謡」 ……13
- 連載 直島便り⑥
「南無庵の庭仕事と“愛の木”」 山根 光恵 ……14
- 連載 第15回
「起こる前に考える こども虐待」 岩倉 栄一 ……16
- 「活動報告」 ……18
- 「活動予定」 ……19
- 「みちのく・みどり学園 御支援のお願い」 ……20
- 「寄付者名簿」 ……21



絵／渡辺あきお

いのちの讃歌を

詩人 日本子守唄協会初代会長
故松永伍一

すべてのいのちは讃えられ愛されるために
この世に生まれてくるものです。
区別もなく差別もありません。
天からいただいたこの熱い絆で共に歩みましょうとの、
母と子の始まりの契りこそ、永遠に新しい愛の形です。
そこから生まれるよろこびと温もりと微笑みが、
家庭を、地域を、国を、そして地球を活気づけるでしょう。
「生まれてきてよかった」と感動に震えるとき、
胸の琴線が鳴りだします。
この調べを私は子守唄、いのちの讃歌と名付け、
これを「人類みんなの持ち歌にしよう」と訴えたいのです。

松永伍一
(1930年～2000年)
詩人、作家
初代の日本子守唄協会会長
「子守唄は個人から平和を象徴する唄だ」という持論。
詩人はどこに属しても迎合してもいけない、権威も駆け引きも金品も関係ない、清潔で簡素な日常の中にこそ人間の美があるということ常におっしゃっていられました。協会のためによくも詩を残しています、その一遍です。



日本子守唄協会は、新しい体制を次世代にバトンタッチし、活動してまいります。

母からのバトンを受けて

私は今でも、母が当時幼児だった私の長女のおもちゃの机に向かい、子守唄についての勉強をしていた姿を思い出すことができます。

あの夏はとても暑く、勉強どころではない環境の中で、一人黙々と取り組んでいた姿を神々しい思いで見ている日、のちにこれが子守唄協会のスタートになりました。その年は実に様々な事件が起きていて、まだ幼い命が人間としての情のかけらもないような無惨な死を迎えていました。そのニュースを見るたびにどうしてこのような事件が後を絶たないのであるうかと母はひどく心を痛めていました。

子守唄が歌われなくなった時代は、子供にもお母さんにもいい時代とはならない、なんとかゆとりある子育てをという祈りを込めて、母はこの活動を60歳からスタートさせたのです。

子守唄の持つ悲しい旋律が、日本人としての心の情緒につながるという説はその後、世の中の悲惨な出来事が起こるごとに証明されてきました。

今回、新しく理事長をお引き受けした時、あの時の母の姿を忘れて忘れることなく取り組んでいこうと心に誓いました。この国が真の意味で豊かになることを信じて、真摯に取り組んでまいります。

日本子守唄協会 理事長 井上麻矢

人の力を考えたい

日本子守唄協会会長 西館好子

この数年、時代の変わり方が早く感じられます。いつに変わらぬ時間を生きていたはずなのに、これはどうしたことでしょう。多情報の氾濫の中、私たちは世界どころか、宇宙の果てまでも知ろうと思えば知ることができ、リアルタイムで事件や報道も受け取ることも可能になりました。物にも食べ物にも不自由もしていません。しかし便利でうれしい反面、何かを失っているようにも感じられてなりません。それは「心」という言葉に置き換えられるものかもしれません。ものをみて感じたり考へたり感動したり、あるいはほんやりしたり、空想や想像で心を遊ばせる時間が少なくなってきたようにも思います。テレビやスマホに振り回されているうち時間があつという間に流れてつてしまいが付くと世の中全体の状況が変わっていることに呆然とすることがあります。これでは自分の心と向かい合うことも、心を豊かに感じることもないかもしれません。日本子守唄協会は設立して19年が経ちました。準備期間の二、三年を入れると20年の月日が流れ歴史は確実に刻まれたことになりました。「子守唄」というキーワードは親子、郷土、平和です。時代がどう変わろうと、変わってはい

けない普遍性を大切に活動してまいります。その趣旨は今も揺るぎがありません。働く女性の社会進出はますます盛んになりませんが、だからといって子供を産まない、育てないが当然なっているとは到底思えません。出産と子育ては大事業です。人間として生まれた限りそれは女性に与えられた神様からの特権だとさえ思います。私は子供を産んで、家庭というオリジナルな想像力の成果を、ぜひ楽しみながらできる、たくましさで柔軟性を女性は持っている、と信じています。そのため生まれてきた幼児からの心のありようを見つめ、女性の生き方を問い続けてきたのです。子守唄という「心」を繋ぎ、次世代へのメッセージを歌い継いできた母親達の声を消してはならないと思っています。やることがあり忙しさに追われる毎日、どんなに過酷でも、結局は子供が成長し自分は老いていくのは現実であり、命の時間の摂理です。どんな子供も愛をもって育った子供が母親を否定などできないのは時間のご褒美なのですから。物豊かにして心貧しくならないために、便利で合理的な日常に優しい潤いを持ちたいいつも考えます。一番古いものの中に一番今に輝く寶が眠っているのは、多くの母親たちのいのちの音が、言葉が宿っているからだと思います。それが「子守唄」なのです。

私と子守唄

折に触れて子守唄について尋ねてみました。

子守唄の聴こえる町に住みたい。
住吉 みさき

お墓の前で母に子守唄うたうんです。ゆっくり眠ってほしくて。
山田 奈々

(西館)子守唄歌ってあげてる?(メグ)ウン。
(西館)誰に?(メグ)ジュン君に。
(西館)弟さん?
(メグ)犬。チワワ。
(西館)なんで子守唄を知ってるの?(メグ)??
(西館)ジュンは眠る?
(メグ)おとなしくしてる。
小野 めぐちゃん(5歳)

風鈴を聴くと母の唄を思い出します。綺麗な声だからじゃない、寝付かれない夜に風鈴の音と母の唄が重なるんです。
敏内 君夫

父の子守唄はとても恨めしい。母の子守唄はすてばち。その子の子守唄はあっけらかんとしているよ。
山 昌文

今は心害の中の日本って感じ。心を育てるでしょう、子守唄って。
佐々見 淳

震災で母も嫁も息子も死にました。空を見上げるたびに、3人は何しているかなあと思います。きっと息子に子守唄うたっているんじゃないかなあと思います。
菅原 忠男

僕はお腹の中でお母さんの声をちゃんと聴いたよ。時々お父さんの声もした。嘘じゃない。本当だよ。
間 賢(6歳)

女房に歌ってやっているよ。死んじゃったからね。寝るとき枕を抱えてさ。嫁だと思っって抱きながらね。
室部達郎(65歳) 気仙沼にて

西館

新理事長の就任。
世襲をするほど大きな組織ではないけれど、娘である麻矢に、というよりこまつ座という創作集団の長であるあなたに、子守唄協会を新しい視点で運営していただきたい。劇団だけでも大変なのに、そのうえ更に大役を兼ねさせますが新理事長をお願いしました。よろしくね。

井上

正直、ずっとそんな予感がしていました。いつか突然いわれるのではないかと。本当に勝手なのよね、むかしから。でも、ママがたった一人で始めたまだ協会の前身であった時代からずっと知っていて、私の生活の一部に絶えず子守唄協会のことは関わったり見たりしていましたから、やっぱりきたかとすんなり覚悟はできていました。不思議なくらいに。

西館

初期には孫を出演させたり唄わせたり、あれから20年たつのね。

井上

うちの娘二人を子守唄キッズとして登場させてね。楽しかった。でも当時子守唄って言われても、さっぱりピンとこなかった。私たち三人姉妹は幼児期に子守唄なんて歌われた記憶はないのに、いったい何始めるのか、疑問だらけで正直「よくわからない人」とママのこと思っていました。ママと呼ぶのはもうおかしいわね。(笑)

西館

そうよ、大変な勉強が必要。でもあなたが最初に疑問とした「子守唄って必要なの？」といったことから出発してほしい。「今のお母さんは子守唄を歌ったり覚えてたりする余裕なんてありません。金なし暇なし、余裕なしそれが母親の現状なの」といつか言っていたでしょう。

井上

つまりは今という現代に通用できる普遍性を持っているというものなのね。私も勉強しなければ。

井上

その前に子守唄はどんな役目を担えるか、次世代につないでほしい大切な日本文化として継承できるかも、しっかり自分の中で検証していきたいし、本質から言えば幼児期の大切さは愛されることに尽きると思う。それに愛を与えられる前に情報社会の中で幼い脳が疲れているのがよくわかる。そして自分の存在を確実

対談

子守唄を次世代に伝えたい



日本子守唄協会 会長
西館 好子



日本子守唄協会 理事長
井上 麻矢

西館

私は最初に子守唄のイベントをやって、すごい手ごたえに仰天したの。観客がみんな泣きながら帰る。なぜだろう？ 琴線に触れるからなのだけれど、「母親」「故郷」「愛情」を全部含んでいる、それが子守唄なのだわかって、これからの仕事って文明が進めば進むほど人間性は希薄になっていくから、心に回帰するものはますます要求されるだろう、よしこれは仕事になると思った。

井上

思っても人はなかなか実行しないでしょう。あのころ私の家に居候していたじゃない。お金もなかったし、仕事場もなかった。ある日突然出て行ってしまった。突然、夜中に伊那にいくとか連絡が来て、バスが出ちゃったから帰れないとか、よくわからない田舎に取り残されたとか、金田一春彦さんのところにいるとか、いったいどうなっているの？ 心配しても始まらない。

それから子守唄協会を立ち上げたって連絡が来て、突然旅に駆り出される。振り回されたけどもう怒る気もしなかった。ただ、子守唄に興味を持つようになったのも事実。

ひよつとすると大変な仕事をしているのではないか、という興味があった。

西館

言ってみると日本人のアイデンティティの問題、原点にあるものだから奥が深いの
にできるのも幼い時の無償の愛の中にあるのだと痛感しています。

西館

あら、私娘たちをかわいがりましたよ。

井上

少しおかしかったけど、子供時代の思い出が楽しくよみがえるのは、両親にわがいがられたせいだと認めています。私の故郷は母と父と暮らした記憶ですし。挙句、父から劇団を、母から子守唄協会を受け継ぐことになったのは「運命」でしょうか。

西館

その通り。ともに心をつなげていく仕事です。私、間もなく80歳でしょう。何歳までも働いていくことは素晴らしいことだけれど、私自身の美学としては年を取ったらそっと生きていきたいって勝手に思っている。出来たらぼんやり旅をしたり、消えていく唄を追いかけたり、船旅をしたり、子守唄と関連する仕事をまとめていきたい。

井上

その前に私たちに次世代へのメッセージは教えてほしい。
私はただ、運営と実行と、多くの方が参加し、結び付き子守唄協会の事業をこれからどう作っていくか、大変なプレッシャーを感じています。皆様にたくさん応援をいただきたいと思っています。



絵 / 浅井民雄

■井上麻矢(いのうえまや)
劇団「こまつ座」代表取締役社長。2014年市川市民芸術文化奨励賞受賞。2015年、井上ひさしから語られた珠玉の言葉77をまとめた「夜中の電話―父・井上ひさし最後の言葉と、自身が企画した松竹映画「母と暮せば」第39回日本アカデミー賞優秀作品賞受賞」の小説版「小説母と暮せば」(山田洋次監督と共著)を連続刊行。2017年1月東京新聞朝刊「私の東京物語」連載コラム執筆(月1回、2週間全10回)2018年6月、西館好子(NPO法人日本子守唄協会会長)との共著「女にとって夫とはなんだろうか」を出版。

世界の子供は子守歌で育つ

NPO法人世界の国旗研究協会会長 吹浦 忠正

母がいつも「江戸の子守歌」を歌ってくれたのを今でも覚えています。この歌が、参勤交代で地方にも広まったという話を、かなり前に、子守唄協会の会合で教わり、秋田市生まれの私はなるほど感心しながら、外国の子守歌はどうなのかと関心が広がりました。

1941年生まれ私が、「ねむれよい子よ庭や牧場に」の堀内敬三訳（原詩の作詞家はFriedrich Wilhelm Gotter）になる、いわゆる「モーツアルトの子守歌」を教わったのは、確か中学2年生の時だったと記憶しています。吹奏楽部にいましたので、教科書を入手したとき、8分の6拍子のこの曲はすぐに覚えられました。すっかり気に入ったのですが、でも、ドイツの子供たちはこんな曲でどうして眠れるのだろうかという素朴な疑問を持ちました。

学生時代、この曲をウイーン少年合唱団が歌うのを聴きました。2小節ごとに美しいオブリガードが入るのを初めて聴いて、もうすっかり夢中になりました。眠るどころか、起き上がった、オブリガードのところは口笛にするなど

し、口ずさんでいました。

ただ、どうもほかのモーツアルトの数々の名曲とは違うなとぼんやり思っていたところ、原題は「Schlafe, mein Prinzchen, schlaf ein（眠りましょ、王子さん、お眠りね）であり、50年余り前に、医師を本業とする作曲家ベルンハルト・フリースカフリードリッヒ・フライシユマンが作曲したのであることが、その後、明らかになりました。

そんなことがきっかけになり、世界の子守歌に次第に関心を持つようになりました。

イスラエルの国歌は「Hatikvah（希望）」と題された短調の曲ですが、これはスメタナの「交響詩モルダウ」にも取り入れられ、さらに、日本では長調になって「こぎつねこんこん」に変化しました。もとはと言えば、東欧で子守歌として伝えられてきたメロディのようです。1983（昭和58）年10月、日本中近東アフリカ婦人会（重光綾子会長当時）が『アフリカの子守歌』を発行されました。緒言によると、同年6月、アフリカやアラブからのご婦人た

をあやす母親や留守を守るおばあちゃんの言葉に、やさしいメロディを付けたものです。

難民を助ける会（柳瀬房子会長）は同じころ、キングレコードとソニーの協力を得ながら、アフリカの数カ国で村人や聖歌隊の歌を録音し、『アフリカのあっ！』という歌のアルバムを作りました。かの地の一般の人たちがかくも歌が上手なのかと驚くほかないものができました。子守歌どころか、出産を待つ歌もあれば、ベートーベンの「歓喜の歌」が土着したような演奏もあります。まだまだアフリカへの関心が決して高いとはいえない日本ですが、こうした音楽の分野で相互理解を進めるのは意義あることではないでしょうか。

私は2年後の東京オリピックまでに江東区の全70の小中学校をはじめ、全国各地で「国旗と国歌」の出前授業をしています。オペラ歌手の新藤昌子さんという、75カ国の国歌をその国の言葉で歌えるという方と一緒です。新藤さんは欧米の国歌はもちろん、特に、アフリカ諸国の国歌を得意とされています。赤坂での6回の「国旗・国歌コンサート」には、ガーナ、ブルキナファッソ、ザンビアの各大使館からも文化アタッシェが来て激賞していました。

国旗や国歌はその国を理解する第一歩ですが、子守歌はその国の人々、国民を理解する第一歩ではないでしょうか。

最後に、『アフリカの子守歌』から7つ、少し、歌詞をご紹介します。



ちと富士山麓めぐりをした時、帰りのバスの中で、疲れが出て、そろそろ皆がうつらうつら出したときに、「それぞれ自分の国の子守歌を披露したら」となり、後日、それぞれがテープで寄せた音源から採譜し、わずか4カ月で、この貴重な歌集ができたということです。同会員の竹内恵梨子さんと樋口葉子さんが採譜し、ガボン、タンザニア、ナイジェリア（ヨルバ族）、同（ハウザ族）、同（カラバリ族）、ウガンダ（ルウオ族）、ギニア、同（シユシユ族）、リベリア（計3曲）、ルワンダ、ザイル、ジンバブエ、ケニアの10カ国14曲が楽譜と言語の歌詞、一部の訳詞、そして、すばらしい挿絵（伊藤幸子さん）で紹介されています。

さらに感嘆させられるのは、それからおよそ4半世紀後にあたる2007年に、今度は工藤公子さんを中心に、同会の会員のみなさんが手作りでその第2集を刊行されたことです。これには、アルジェリア、エジプト（ともにアラビア語）、ベナン（モノ語）、ブルキナファッソ（モレ語）、カメルーン（バカカ語）、コンゴ民主共和国（リンガラ語）、コートジボアール（アイエイ語）、ガボン（ミエネ語）、ガーナ（キユイ語）、ギニア（スースー語）、ケニア（ルオ語）、レソト（セソト語）、マダガスカル（マダガスカル語）、ザンビア、マラウイ（ともにチエワ語）、マリ（ババラ語）、ナイジェリア（イビビオ語）、セネガル（ウオロフ語）、タンザニア（スワヒリ語）、ジンバブエ（シヨナ語）、そして歌詞はロとロシかないアンゴラの計21カ国の子守歌です。どれも古今東西変わらないかわいい赤ちゃんや幼児

静かに静かに□□□□ お母さんは川へ□□□□
水を汲みに□□□□
あなたに飲ませるために□□□□
（ブルキナファッソ）

※歌詞中の「□」は「O」です。

赤ちゃん 泣かないで
エーエエ オーオーオオ お母さんは畑へ
エーエーエエ プランテン（調理用のバナナを
持つて帰ってくるわ…
（カメルーン）

ちいさなちいさな私の子
どうしてご機嫌なめなの
あなたが歩いているのを見ると
あなたがおしゃべりしているのを見ると
私はとても得意なの
あなたは大事な宝物 私だけの宝物
ああ 何て嬉しいのかしら
なんて可愛い手でしょう
なんてきれいな子でしょう
（ガボン）

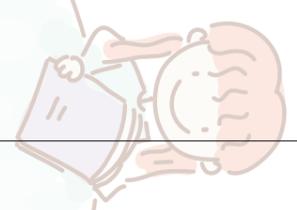
あかちゃん もう泣き止んでちょうだい
泣くのをやめたらとつてもいいものをあげま
しょう ほっぺが落ちそうに美味しいものよ
フーフーを食べましょうか スープを飲みま
しょうか 泣くのをやめないのなら
苦しいスープをあげますよ
（ガーナ）

私のいとしい赤ちゃん
ママはおっぱいをあげまじょう
泣き止まないよ
ハイエナが来てあなたを食べちゃうわよ
私の可愛いいたずらっこちゃん
ママはおっぱいをあげまじょう
（ケニア）

おねむり赤ちゃん 泣くのをおやめ
鳥さんたちはみんな小さな巣でねむっているよ
おねむり赤ちゃん
（マラウイ）

ママが帰ってくるよ もうすぐだよ
おもちゃとお土産を持つてね
箱もつ持つてくるよ
中にはアヒルが入っているね
こんな風に鳴くんだ クアッ クアッ クアッ
（エジプト）

洋の東西、肌の色の違いに関わらず、家族愛の中でかわいい赤ちゃんが育つ、その幸せを一緒にかみしめるような歌を、アフリカでも、日本でも聴きたいものです。
ところで、今の日本のおかあさんたちは、この人類共通の文化遺産をどうしているのかな？



聖徳太子と子守唄



日本子守唄協会 会長 西館 好子

栃木県に聖徳太子神社があります。それは柏倉温泉の敷地内にあり、つき当たりの相当急な階段を登り切った頂上の小さな社に、幼年期の聖徳太子の立像が祀られています。立像は穢れを知らない子供のあどけさを残していて、拝顔するにふと心の浄化を覚えます。頂上の廟にたどり着き、回廊を一回りするとなりの里山が四方に広がっていて絶景な眺めです。国家太平、五穀豊穰、子孫繁栄、の神社への祈願はどこも同じですか、ここではないのころより建築、土木の神様として参拝に訪れる人が多くなりました。

不景気になると必ず「聖徳太子」が復活してくと昔からのいわれがあります。国造りの基本が建築から始まるということもあるでしょうが、国家の基礎を作った聖徳太子詣では「景気回復」の守り神として重宝され始めているようです。かつて一万円札の絵柄が聖徳太子であったところからお金儲けの祈願に太子詣があつたという現世利益の気持ちが優先したというのが本音かもしれません。その聖徳太子は「子守唄」と切っても切れない

い縁にあるということを知らない人はたくさんいます。聖徳太子の出現は今から1574年も前のことです。別名「厩戸皇子（うまやどののおうじ）、皇后が宮中を散歩中妊娠8ヶ月でにわか陣痛をおこし、厩に入り出産したというのです。その手に小豆ほどの仏舍利を握っていたのですが、事実とは定かではありません。偉人には出生から物語がついてきます。早産で生まれた時の皇太子に「キリスト伝説」がかぶせられたともいえるかもしれません。キリストも生まれは厩。馬は菩薩の化身とされ、神の見守る中での出産したという逸話が同じように出来上がっていったのでしょうか。

父の用明天皇は穏やかな性格で独裁者ではありませんでした。仏教の伝来を受け、神道とよい塩梅でとりいれ国を才冷めようとしてました。太子の誕生は次世代の政権争いの格好の餌食となつてしまいました。曾我一族と、物部一族の争いです。それはまず太子の育児をめぐる始まりました。曾我一族は大陸に負けないような国家づくりをするための育て方を、物部一族は外国など懂れずと

も、日本大陸を名だたる国にしたいという主張を譲りませんでした。

外国文化の導入と国粹主義の対立、仏教摂取と神道の守護の対立、宗教や思想の対立は自分たちが絶対正しいと思うあまり、他を排除してしまうことでした。

両者はおとなしい用明天皇を操り、次政権の権力を掌握したいと考えるようになりました。ここで大事なことは、用明天皇の父、太子の祖父にあたる欽明天皇が生きていて、この人は日本の将来は大陸文化を受け入れなくてはならないと思つていました。太子はこの祖父の影響を強く受け、仏教の発展が国の根幹にかかわると思つてその普及に努めました。隔世遺伝かもしれません。

太子の母親の記載は全くありません。母親という私たちの概念とは当時の皇族ではもっとわからない存在です。国母の威厳と子を産んだ使命感とで押しも押されぬ大女王の地位にいたのです。

美貌や箒絡をもって得た地位ではなく、正真正銘の血統の良さと特権階級の中で咲いた大輪の花だった母親は普通の母の在り方とは全く違つていたようです。

太子の育児は母の手ではなく高い地位にある家臣の娘の中から選ばれた五人の専属乳母の手に委ねられました。

「月益姫」「玉照姫」「日益姫」「唐花姫」「玉安姫」と名がついた姫たちが太子の乳母として養育にあたりました。

ここで大変な歴史の事実が明らかになりました。正徳太子伝全六巻巻一に太子は子守唄を歌われて眠らされていたという記載があつたので

す。また、大阪の雑学者田宮仲宣（ちゆうせん）の著「愚雑俎」（1837年天保8年）には聖徳太子の子守唄が次のように述べられています。「子守唄のねんころろんと唄うは、昔皇子を御寝成らせ奉る時、抱き奉りて太平楽の譜を称えてゆぶり奉りしより初まれりとぞ」つまり太子を唄を歌いゆすつてあげたのが子守歌の始まりだったという言うのです。

寝入れ寝入れ 小法師
縁の縁の下に
むく犬の候ぞ
梅の木の下には
目きららのさぶろうぞ
ねんねん法師にををつけて
ろろ法師にををつけて
ろろ法師にひかせう
ねんねん法師にひかせう
御めとはどこへぞ
道々の小川へむつき濯しに
ねんねんねんねんろろろ
梅の木の下には
目きららのさぶろうぞ

子守唄の歌詞がちゃんと残されています。むろん曲は在りません。寛永六年正徳太子伝

寝なさい寝なさい坊や（小法師はかわいい坊やという意味）
縁の下にはむく犬（狼または獣）がいますよ

梅の木の下には目をキラキラさせた光るものもいますよ（物の怪）

寝ないと坊やをさらいにきますよ
乳母はどこに行つたのでしょうか
きつと坊やの産着（おむつ）を洗いに小川にいったのでしょうか
さあ、早く寝ないとそれらがきますよ
早くおやすみなさい。

幼い子供にとっては意味はともかく何か恐ろしい雰囲気は伝わってくる歌なのです。しかしやんごとなき御子を眠らせるに果たして脅しながら眠らせたのか、ちよつと疑問になります。相当な覚悟があつて歌つたのでしょうか。ねんねんは「念仏」のねん、当時念仏は仏教大国の御印であり、浄土への道しるべ、国中の寺で唱和され一種の流行り、人々は合唱して各地に響き渡っていたと考えられます。誰はばかすることなく「ねんねんねんねん」と呪文のように唱えていたのではないのでしょうか。子守歌への転用があつたとしても不思議ではありません。中国大陸では当時

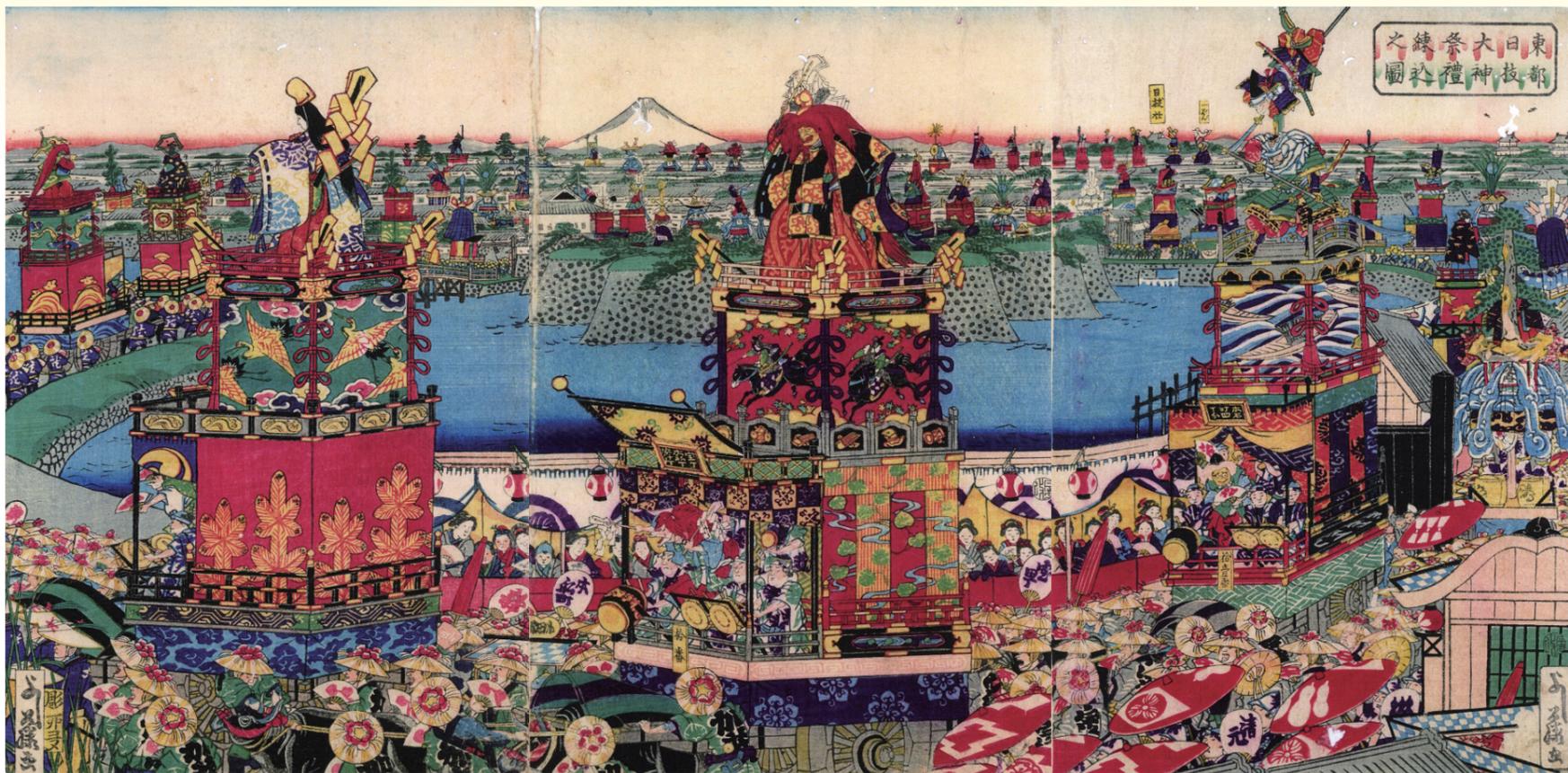
ねんねんよーねんねんよー
馬虎がきたよ
虎がきたよ おおかみがきたよ
鬼が来たよー

という子守歌があつたそうです。乳母たちは、渡来してきた流行り唄を、さつそく取り入れていたのかもしれない。しかしとはいっても太子

風流子ども歳時記

（江戸天下祭りの巻）

わらべうた研究家 尾原昭夫



東都日枝大神祭礼練込之図
歌川芳藤画

山王のお猿さん

山王のお猿さんは
赤いおべが大好き
テテシヤン テテシヤン
夕べ恵比須講に 呼ばれて行ったら
鯛の吸物 小鯛の浜焼き
一はい おすすらすうすら
二はい おすすらすうすら
三はいには 名主の権兵衛さんが
肴がないとお腹立ち ハテナ ハテナ
まずまず一貫 おん貸し申した
せんせんせん まんせんせん

東京（拙著『日本のわらべうた』より）

東京を中心として、広く全国的にもうたわれた手鞠唄である。「山王のお猿さん」とは東京山王権現（千代田区日枝神社）の使いとされ、祭りの山車にも立っていた猿をうたったもの。いきな都節音階（陰音階）で、詞・曲ともにリズムカルで明るく、江戸のわらべ唄でも代表的なものである。冒頭に掲げた芳藤描く「東都日枝大神祭礼練込之図」に



江戸風俗十二月 六月山王祭
楊洲周延画（部分）

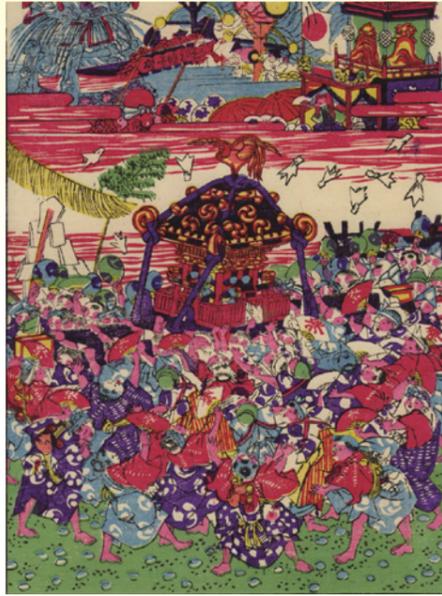
麹町（大象）の人気

数ある山車のなかで、ひととき目立つ人気ものに麹町の大象があった。幕末の万延元年（一八八〇）頃から明治にかけて江戸・東京に大流行した長編の尻取り唄がある。「牡丹に唐獅子」に始まり、長い文句が延々と続くのを、よどみなく間違えずに節づけしてうたうところが口自慢の江戸っ子に大受けして、はては「ねんねんころりよ」の節にのせて子守唄として、また子ども達もお手玉唄としてもうたった。実際（おもちゃ絵）や（双六）などにも数多く描かれるほどに大人にも子ども達にも人気が高かった、その尻取り唄の最終の結びが山王祭りの（大象）なのである。

見えるように、六月十四日の宵宮、十五日の本祭りの二日間、山王祭りは豪華な山車が延々と連なり、なかでも江戸城内への練り込みは半蔵門から城内に入り竹橋に抜け、続いて山の手・下町の百三十余町へと練り込む江戸っ子の誇る特別な祭りである。隔年で同様に行われる神田祭りとともに、將軍みずから拝観する慣わしから世に（天下祭り）と称された。警護先導の手古舞、木遣り音頭に続くその山車の第一番が大伝馬町の（諫鼓鶏）（先号参照）で、二番が南伝馬町の（猿）、その続きが何と四十五番まで、さらに鉾あり花山車あり、「家々でも皆棧敷を掛けて幕を張り、毛氈を敷き、金屏風をたて飾って親戚知己を招いて行列を観覧する」という有様で、

それはそれは壮麗華美を極めたものであった（若月紫蘭著『東京年中行事』明治四四年刊）という、まさに江戸一番の大イベントであったのである。しかし、その江戸っ子が愛してやまない大切な祭りも、また町内の何よりの宝である山車も屋台も、関東大震災で、また太平洋戦争の東京大空襲によって、そのすべてが灰燼に帰ってしまったのだ。その後力強く復興した東京ではあっても、今もってその山車の数々を見ることができないのが現状で誠に残念といわざるをえない。とはいえ、そこは江戸っ子の底力、神輿を中心として祭りは復活した。

（図版浮世絵 筆者蔵Ⅱ以下同じ）

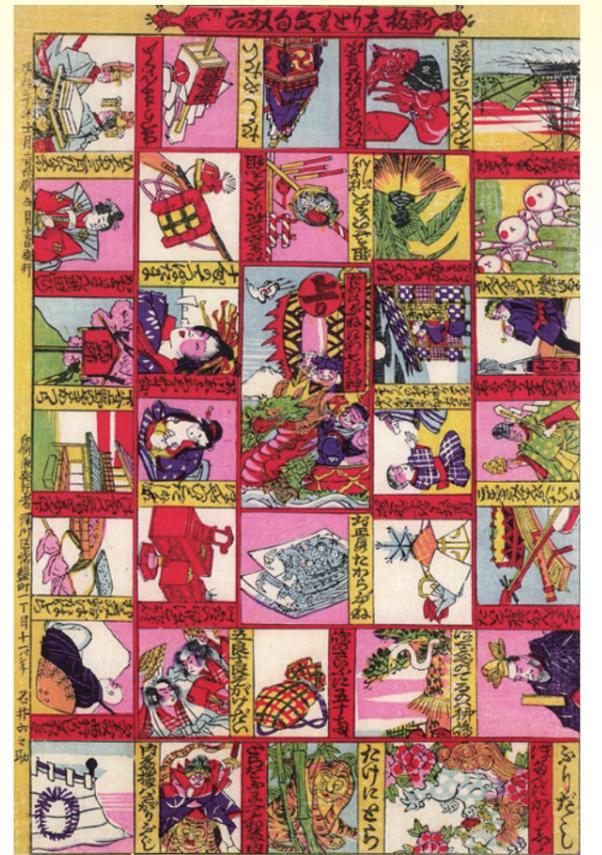


子ども神輿 新板だしづくし
画者不詳(部分)

山王祭り・神田祭りに浅草の三社祭りを加え東京の三大祭りという。そのほか都内いずこにおいても祭りはひじょうに盛んで、それぞれの

「ワッショイ ワッショイ
ワッショイ ワカショイ ワッショイ
ワッショイ ワッショイ ワカショイ
もめもめもめや 塩まいておくれ
元気でもめや 景気をつけろ
ワッソーワッソー ワカソーワッソー
ワッソーワッソー ワカソーワッソー」
(拙著『東京のわらべ歌』より)

「シヨイ」と掛け声勇ましく町から町へと練り込む。次はその江戸流の掛け声。



新板しりとり文句双六(おもちゃ絵)
画者不詳

「牡丹に唐獅子竹に虎 虎を踏まえて和唐内 内藤様は下がり藤 富士見西行後ろ向き むき身はまぐりばかはしら 柱は二階と縁の下 下谷上野の山かずら 桂文治は咄家で でんでん太鼓に笙の笛 閻魔は盆とお正月 勝頼さんは武田菱 菱餅三月雛祭り 祭り万灯山車屋台 鯛に鱈に鯖まぐる ロンドン異国の大港 登山するのはお富士山 三べん回つて煙草にしょ 正直庄太夫伊勢のこと 琴や三味線笛太鼓 太閤様は関白じゃ 白蛇の出るのは柳島 縞の財布に五十両 五郎十郎曾我兄弟 鏡台針箱煙草盆 坊やはい子だねんねしな 品川女郎衆は十匁 十匁の鉄砲弾 玉屋は花火の大元祖 宗匠の住むのは芭蕉庵 館かけ豆腐に夜鷹そば 相場の鉦が

ドンチャンチャン ちゃんやおつかあ四文 おくれ お暮れが過ぎたらお正月 お正月の宝船 宝船には七福神 神功皇后武内 内田は剣菱七つ梅 梅松桜は菅原で 葉で束ねた投げ島田 島田金谷は大井川 可愛いけりやこそ神田から通う 通う深草百夜の情 酒と肴は六百出しままよ ままよ三度笠横ちょにかぶり かぶり縦に振る相模の女 女やもめに花が咲く 咲いた桜になぜ駒つなぐつなぐかもじに大象とめる

(拙著『東京のわらべ歌』より)

あまりに文句が長いので、「閻魔は盆とお正月」から一気に「お正月の宝船」に飛んでうたったり、ここに掲げた双六のように途中で「上り」にしたりといったこともあった。

町で子ども達もりっぱな仲間となり、元気な掛け声を響かせて祭りに花を添える。「天王さまだ、お神輿だ、万灯つけろ、灯りをつけろ、ワッショイワッショイ、もめもめ。」なかにはこんなかわいい声も聞こえてくる。「よっちょい、わっちょい、天王さまよ、がちやらんがちやらん。」小さい幼子たちも祭りには夢中で、おもちゃの万灯や神輿をかついで部屋を歩き回ったり、狐やおかめ・ひよっこなどのお面をかぶって踊ったり、笛や太鼓・すり鉦(江戸では「当り鉦」という)などお囃子のまねごとをしたりして、いつかは大きくなって祭りに参加したい、そうした場面を夢に描きながら遊ぶ、その様子をかの広重も周延も見逃さずみごとに描いている。

「テン テレスタク てんぐのめん

おかめにひよっこ はんにゃのめん
(東京 拙著『日本のわらべうた』より)

祭りの太鼓の口唱歌を用いた幼児のしぐさ遊び・身振り遊びである。口唱歌とは、笛や太鼓の複雑な演奏技法を覚えるために暗唱するもの。参考までにその遊び方を書き添えておこう。

「テンテレスタク」で両手を胸の前で糸を巻くようにぐるぐるまわし、または両手で太鼓を打つしぐさをし、「てんぐのめん」で両手のコブシを鼻の上に重ね、「おかめに」でほおを両手でおさえ、「ひよっこ」で口にコブシを二つ重ね、「はんにゃのめん」で人差し指でツノをつくって頭の両わきにあてる。



山王祭りの大象 山王祭礼上覧
楊洲周延画(部分)

子ども神輿とお囃子遊び

天下祭りのもう一つ、神田祭りについて、前出明治の『東京年中行事』は次のように記す。神田神社大祭 氏子区域もはなはだ広うして、百八十八箇町、二万四千戸の氏子を領すれば、神輿も氏子町内を分かちて、かわるがわるに渡御するなり。しかもなお四日を要すといえり。神輿は二基ありて、大いなるは、昇夫五十人をもつて担ぐ。大人の盛大な神輿に対して子ども達も負けてはいない。背中に赤い巴が染められたかわいいはつぴに祭り褌、鉢巻きに白足袋、顔にはきれいに化粧をしたいなせなでたちで、黄色い声を張り上げて屋台を引き、また「子ども神輿」や「樽神輿」をかついで、「ワッショイワッ

小児の遊び

楊洲周延画(部分)



風流をよな遊び
歌川広重画(部分)

世界子守唄紀行

第20回「シリアの子守唄」

前回に引き続き、ナーヘド・アルメリさんから聞いたシリアの子守唄を紹介したい。まず「アンズの実を摘もう」は、寝た子へのご褒美を約束する子守唄で、世界の子守唄の定番モチーフである。日本であれば餅や赤飯、英国スコットランドではウサギの毛皮やミルクが、起きた子どもを待っている。

アッティイチー アッティイチー
アンズの実が アンズの木に成っている
風が吹いたら ヌーラちゃんに
アンズの実を摘んであげよう

旋律は前回の唄とよく似ており、「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ファ #・ミ」で構成され、ミが核音となる「アラビア風」の抑揚を持つ。小節に調節化することが難しいリズムだが、八分の六拍子としてみた。歌詞については、「アッティイチー」は特に意味のない、リズムを作るための言葉で、英語では「ジングル」と呼ばれる。内戦が始まる前、シリアの民家の庭には大抵、アンズやイチジクやブドウなどの果樹が植えてあったそう。ヌーラちゃん（別の名前でも構わない）が眠ったらアンズの実をご褒美にあげようというのである。

もう一曲、ちょっと残酷な内容を含む子守唄を歌詞のみ紹介しておく。「ねんねん ころり ねんころり/ヌーラがおやすみ してくれたなら/焙った鳩を ヌーラに食べさせよう/鳩さん そんなことはしないからね/ヌーラが寝てくれるように 嘘をついただけだから」。実際にシリアで鳩が食用とされることはそんなに多くないそう。子どもをドキッとさせるためだろうとナーヘドさんは見ている。残酷さもまた、世界の子守唄の定番である。ただし、子ども



鴉野 祐介

(立命館大学教授 日本子守唄協会評議員)

その2『アンズの実を摘もう』

自身を食べちゃうぞと脅かすのではなく、鳩を焙り焼きして子どもに食べさせようと言った後で、鳩に対して「嘘だよ、安心して」と呼びかけている。手が込んでいて面白い。日本で百年前に創刊された『赤い鳥』に掲載された童謡にも登場しそうな、小動物への呼びかけを含んでいる。ナーヘドさんが日本で金子みすゞ研究に取り組むことになった淵源はこのあたりにあるのかもしれない。ちなみに、日本の「ねんねんころり」にあたるシリアのあやし言葉は「ヤツラ トウナーム」だそうである。前回紹介した「愛する人を私のもとへ」と今回の二曲はいずれも、ナーヘドさんが生まれ育ったホムス周辺の地域で伝承された子守唄で、歌詞はアラビア語のホムス地域の方言だという。シリアでは、アラビア語の文字はコーランを記した神聖なものであるため、方言を文字として記録することはタブーとされており、方言で歌われる子守唄やわらべ唄、方言で語られる昔話や世間話の類いは記録されてこなかったそうだ。いつかまた、こうした唄やお話が心置きなく子どもたちに届けられる日が早く戻ってきまそうに。



アンズの実



ダマスカスの市場 (2010年1月)

雨降りお月さん

雲の陰
お嫁にゆくときや
誰とゆく
ひとりで傘
さしてゆく
傘のないときや
誰とゆく
シヤラシヤラシヤンシヤン
鈴つけた
お馬にゆられて
濡れてゆく

雲の陰

いそがにやお馬よ
夜が明ける
手綱の下から
ちゆいと見たりや
お袖でお顔を
隠してる
お袖は濡れても
干しや乾く
雨降りお月さん
雲の陰
お馬にゆられて
ぬれていく



野口雨情と
童謡



野口雨情
1882(明治15年)~
1945(昭和20年)
茨城県生まれ。
日本への思いを心から詩作に託した。
童謡界の偉人。北原白秋、西城八十、とともに童謡界の三大詩人として今もその作品は多くの人に愛され、歌い継がれている。「七つの子」「シャボン玉」「コガネムシ」「証城寺の狸囃子」の童謡他民謡や雨情節といわれる流行歌まで幅広い詩作を生きて二千曲もの作品を残している。

兎のダンス

ソ ソラ ソラ ソラ
兎のダンス
タラッタ ラッタ ラッタ
ラッタ ラッタ ラッタ ラ
脚で蹴り蹴り
ピョコピョコ 踊る
耳に鉢巻き
ラッタ ラッタ ラッタ ラ
ソ ソラ ソラ ソラ
可愛いダンス
タラッタ ラッタ ラッタ
ラッタ ラッタ ラッタ ラ
とんで跳ね 跳ね
ピョココ ピョココ 踊る
脚に赤靴
ラッタ ラッタ ラッタ ラ

ねむの木

ねむれよ ねむれ
ねむの木よ
ねむれ
夕闇アきたぞ
ねむの木がねむりや
雀もかえる。
河原のやぶへ
すずめよ かえれ
夕星ア出たぞ
雀がかえりや
ねむの木がねむる。

あの町この町

あの町 この町
日が暮れる 日が暮れる
今来たこの道 帰りやんせ
おうちが だんだん
遠くなる 遠くなる
今来たこの道 帰りやんせ
お空に 夕べの星が出る 星が出る
いま来たこの道 帰りやんせ



南無庵の庭仕事と「愛の木」



南無庵 庵主 山根 光恵
山口県長門市出身
浄土真宗本願寺派 布教使

今、私が住んでいる直島の「南無庵」は、後ろが山、前が海と言う地形の所で、家の後ろ側には山越えの道がついていて、生活道路でもあり、格好の散歩道として住民や観光客がたくさん通っていく。

「南無庵」は塀のない家なので、皆に見られていると言う気持ちもあり、家の周りの庭とか畑も、少しでも美しくありたいと、お花をいろいろ植えている。

何よりの自慢は、昔からある桜の太木である。樹齢七十年は経っていると思われるが、家を建てる前は、桜の周りに雑木がたくさん生えていて、あまり目立たなかった。ところが周りの雑木を抜いたら、見る間に大きくなり、



崇徳桜

いるためだ。

ミントもたくさん増えてきた。最近、和薄荷（ニホンハッカ）も見直されてきて、農家で栽培もされているそうだが、苗の市販はしてないとのこと。残念ながら南無庵では外国産のミントを中心に植えている。

風が吹いた時や、水やりをしている時、ほかにさわやかな香りがして本当に心地よい。カモミールも側を通るだけでよい香りがして、人が遊びに来た時などはハーブティーをお出しして楽しんでいる。

これらハーブの効果で、本当にムカデや蚊が減ってきた。しかし、虫は減ったもののミントの繁殖力も半端ではなく、いつも抜いたり切ったりしなければならぬ。そしてミントは猫によってはマタタビのように反応する場合もあるらしく、そのせいか、最近、野良猫がたくさん来るようになった。二匹の子猫を連れた親子猫も時々見かける。猫好きの人には良いかもしれないが、私は正直あまり好きではないので、仕方なく黙認というところである。

庭仕事は毎日が雑草との戦いで、梅雨時は特に草の成長に驚く。いつも雑草が気にかかって、雨降り後には「サーやるぞー」と気合を入れて外に出るが、すぐに疲れてしまい、草はまたどんどん成長する。

自分ひとりの作業なので、ノルマがあるわけではないが、「稼ぐに追いつく貧乏なし」という言葉のように、草には負けてしまう。

本当に美しい花を咲かせて皆を楽しませてくれている。

花の盛りが過ぎようすると、必ず春の嵐が起こり、まだまだ咲きたいと枝にしがみついている花びらも風に負けてあつという間に落ちてしまう。

花が散って枝だけになった桜の樹に、「今年も力いっぱい咲いて皆を楽しませてくれてありがとう」と大木をハグして礼を言う。

その後は幹の中に控えていた葉が芽吹き始め、夏の暑い時に、その下を通ると影となってさわやかな風を送ってくれる。

田舎育ちの私は、小さい頃からお花を育てるのが好きで、いろいろなお花を植えて楽しんできた。

終の棲家としてこの地を選んで、好きなようにできるようになったのであるが、何しろ庭作りをすべてひとりであるから、植物を植えるよりもまず雑草取りが大変で、それに日々

でも、太陽の光をたくさん浴びて、無心に体で動かしているのが、心地よい疲れで食事もおいしく食べられるし、ずいぶん健康になったなと思う。

ところで、以前にも書いた通り、我が家の裏の散歩道を百メートルくらい進んだところに「崇徳天皇神社」がある。そして、その鳥居の手前の道沿いに不思議な木がある。

二本の違う種類の木が並んでいるのだが、寄り添っているように見える木をよくよく見ると、途中で一本の木として繋がっているのである。いつもその道を散歩している人に話すと、毎日のようにそばを通っているけれど全く気が付かなかったという。

私から指摘されて、皆びっくりする。京都の下賀茂神社の、相生社という社には、「連理の賢木（れんりのさかき）」という御神木があって、二本の榊の枝が一本に繋がっている。

このような木は全国でも、たくさんではないもののあちこちにある。それらは同じ種類の木が、風などで枝が擦れ合っているのか一本に繋がったものだ。ちなみにそのように連なった枝を「連枝」というが、この言葉は辞書を引くと、「枝を連ね本を同じくするの意で兄弟、特に貴人に言う」とある。貴人の間では、兄弟のことを連枝と言うこともあるらしい。

しかし、私が見つけたこの木は、二本の違う種類の木、それも枝ではなく幹が一本になり、命を共有しているのとても珍しいのではないかと思う。直島は、昔、亜硫酸ガスの公害で、山がはげ山



ジャーマンアイリス

追われてしまう。お金もかけられないから、近所の人から頂いた水仙や万両、牡丹、前から生えていたあやめやジャーマンアイリスなどを株分けしたりして増やしている。

若い頃は、バラや蘭なども植えて楽しんだこともあったが、だんだん歳を取ってくると、外来種の花は公園や植物園で見ればよいかな、という気がして、今は在来種を中心に植えて楽しむようにしている。

「お茶花」になるようなものも植えたいと思うのだけれど、何しろ日当たりが良すぎでかえって育ちににくい。

畑にもねぎ、三つ葉、レタスなども植えている。また、夏に食べるそうめんには、絶対、ミョウガが欲しいと思い、苗を頂いて植えたのだが、寒冷紗をかけないと枯れてしまうのだそう、実際、去年は見事に枯れた。

今年はずっと寒冷紗をかけているので、ミョウガも収穫できそうに楽しみにしている。

さらに、家の周りにハーブもたくさん植えている。これは「除虫」——「殺虫」ではない——の意図もある。田舎暮らしでは蚊やムカデ、蜂など、刺されたら大変なことになる虫もたくさん

になっていたが、公害規制のお蔭で山にも木がたくさん生えてきた。ただ、それらは自然に生えっぱなしの状態、この木にしても、ちゃんとした名前もないような木である。でも、確かに違う種類の二本の木が一本に繋がっている。

「接ぎ木」のように、違う木同士をつなげることはできないことではないが、この木は誰の手も加わっていない自然のものだ。

私は、この木に勝手に「愛の木」と名付けて会った時に、「元氣？」と声をかける。生まれたところは別々でも、どんなところで命を共有して共に支えあって生きていく姿は美しい。

直島は、三十年前から、現代アートの島として、世界中からアート鑑賞にたくさんの方が訪れている。この二本の木は、自然が作り出したアートではなからうか？

現代アートは観るだけではなく見ている自分も他の人も、空気も景色も全部含めての作品であるという。いろいろな国の人々がこの地に来て、言葉や慣習の隔てなく、共に「へいわ」という作品を作り上げているように私は感じる。

瀬戸内海の直島は、そんな場所である。



愛の木

虐待防止への願いそして祈り

第15回 起こる前に考える
子ども虐待

日本子守唄協会事務局 岩倉 栄一

東京都目黒区で虐待を受けたとされる船戸結愛(ゆあ)ちゃん(5)が3月に死亡した事件につきまして、テレビ・新聞等、様々な報道の中から、いくつかご紹介させていただきます。

【産経新聞 抜粋】

1冊の大学ノートに覚えたてのひらがなで綴られたメッセージは、数々の悲痛な事件に対峙(たいじ)してきた捜査員の心をも揺さぶった。「彼女の最後のSOSを、伝えなくてはいけないと思った」。文章を公開した理由を、捜査幹部はそう打ち明ける。

ママ もうパパとママにいわれなくとも しつかりとじぶんからきょうよりかもっともつとあしたはできるようにするから もうおねがいゆるして ゆるしてください おねがいします

ほんとうにもうおなじことはしません ゆるして きのうぜんぜんできてなかったこと これまでまいにちやっていたことをなおす これまでどれだけあほみたいにあそんだか あそぶってあほみたいだからやめるので もうせつたいせつたいやらないからね せつたいやくそくします。

【PRESIDENT Online 抜粋】

結愛ちゃんを殺したのは私たち大人である
親を罰しても、虐待はなくなるらない

「愛を結ぶ」。生まれたあと、そんなかわいらしい名前をもらった女の子は、大好きだったパパとママに殺されてしまった。

それは一体なぜなのか。児童相談所や警察だけの責任ではない。この問題は私たちすべての大人にも責任があるはずだ。



NHK取材班「なぜ、わが子を棄てるのか」
「赤ちゃんポスト」10年の真実
(NHK出版新書)

特に近所づきあい希薄な都市部では、地域ぐるみで子どもの成長を見守るという状況はなくなり、孤独の中で子育てと向かいあっている人たちが増えている。かつて、セーフティネットの一つとして存在した地域における共同体は、もはや機能しなくなったといえるだろう。

このように人と人とのつながりが急速に失われていく中、親子を支援するための機能的な仕組みを早急に構築しない限り、子育て困難者は増えていくばかりで、子どもが虐待したり遺棄したりする人はいなくなるならない。

子どもが虐待を受けたり、育児放棄や遺棄されたりした場合の親権の取り扱いについて、明確なルールが設けられている国も多い。

日本では、なぜ同じことができないのか。親権をめぐる問題に詳しい弁護士で、NPO法人児童虐待防止協会の理事を務める岩佐嘉彦氏は、こう指摘する。

「親権を一時的に停止し、子どもを安全な場所に保護できる制度ができたとしても、裁判所が親権を奪ったり、制限したりすることに躊躇するケースも多くあります。子どもの命を守るための制度自体は一歩踏み込んだものになりましたが、現場ではあいままま進められているのが現状です」

このように我が国の児童福祉に関する制度や仕組みは、決して十分だとは言える状況ではない。子どもの視点に立った福祉改革をすぐにでも実行に移さなければ、また同じような事件が繰り返されるであろう。

※ここまで書籍の内容を再編集したものです。

【親たちに適切な治療を施さなければ、同じことを繰り返す】

結愛ちゃんは顔や太ももにあったアザについて聞かれたとき、「父親に蹴られた」と答えたという。これは明らかに虐待である。父親は病んでいる。この状況を見過ごしていた母親も同様だ。子どもを引き離して、親たちに適切な治療を施さなければ、同じことを繰り返すことは明らかだった。

子どもをもうけて親になったからといって、すべての親が子どもに十分な愛情を注げるとは限らない。幼少期に愛された経験のない人は、親になってからもわが子を慈しむことができないことがある。また経済的にも精神的に追い詰められた環境で、子どもを育てるよりも、自分たちが生きることが優先する大人たちも存在する。

児相や警察の対応に問題がなかったとはいえないだろう。しかし、このような問題を抱える大人たちも同時に救うことを考えていかなければ、子どもの命は守ることはできないはずだ。

強者である大人によって弱者である子どもの命が葬られるようなことは、決してあってはならない。この悲惨な出来事を機に、児童福祉に関しての社会の関心が高まることを願ってやまない。

結愛ちゃんのご冥福を心よりお祈りする。合掌。

【虐待相談件数は12万2578件で過去最高を更新】

赤ちゃんポストは日本で唯一、罪に問われずに子どもを棄てることのできる場所だ。

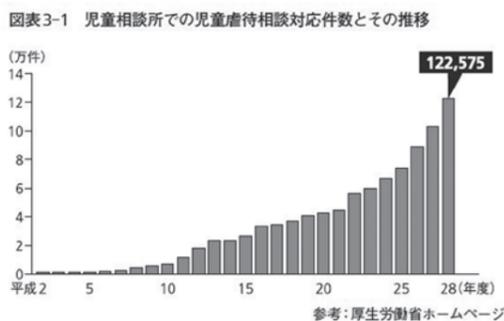
この日本にたった一つの、それも一民間病院がつくったポストは、育児放棄や児童遺棄から「命だけは救いたい」という思いで設置された。

「命の救済」か、「子棄ての助長」か、といった議論がなくなることはないが、最後のとりでとしてポストにたどり着いた人たちを救ってきたといえるだろう。

では、虐待は減っているのだろうか。次のグラフを見てほしい。児童虐待の増加は深刻さを増している。

児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移

2016年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待は、12万2578件(速報値)と、過去最多を更新。虐待によって死亡する子どもも後を絶たず、生まれて間もない新生児が死亡するケースも目立つ。



活動報告

■台東区子守唄講習会

開催日：平成30年4月14日(土)・7月14日(土)
主催：台東区
会場：寿子ども家庭支援センター(4月14日)
日本堤子ども家庭支援センター(7月14日)
出演：雨宮知子 岸本あかね
北村亜弥子 杉田美紀

昨年同様、寿子ども家庭支援センターと日本堤子ども家庭支援センターにて台東区子守唄講習会を行いました。子どもたちは声を出したり走ったり、はたまた真剣な表情で音に集中したりと、めまぐるしくも自由に過ごしていました。この日子どもたちを連れてきたお父さんお母さん方もはしゃぐ子どもたちを見て、楽しんでいました。



■唄い継ごう子守唄・童謡・唱歌

開催日：平成30年4月17日(火)・5月15日(火)・6月19日(火)
(毎月第三火曜日)

会場：浅草橋区民館(東京都台東区)
山口栄先生の指導のもと、毎回20名ほどの常連メンバーが、子守唄のみならず、童謡、唱歌、フォークソング、山口先生のオリジナル曲、多種多様な唄を歌います。山口先生の明るい声が響くなか、皆さん、本当に楽しそうに声を合わせて合唱しておられました。
独特のジョークを織り込みながら先生が繰り返しおっしゃるのは、口角をあげ、口を大きく開き、言葉を柔らかく届けるということです。上手い下手は二の次三の次。とても楽しい2時間が毎回あつという間に過ぎてゆきます。



活動予定

お申し込みは、メールまたはFAXで日本子守唄協会まで。
Eメール info@komoritajp FAX 03-3861-9418

■唄い継ごう子守唄・童謡・唱歌

開催日：平成30年8月21日(火)・9月18日(火)(毎月第三火曜日)
会場：浅草橋区民館(東京都台東区)

■ふれあいファミリーコンサート
〜東北の子守唄と童謡・唱歌〜

開催日：平成30年8月25日(土)
主催：国立青少年教育振興機構
会場：弘前文化センターホール
出演：稲村なおこ 藤井秀亮 西山琴恵 雨宮知子 岸本あかね
北村亜弥子 杉田美紀 西館好子

■ふれあいファミリーコンサート
〜京都のわらべ歌と童謡・唱歌〜

開催日：平成30年9月8日(土)
主催：国立青少年教育振興機構
会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール
出演：稲村なおこ 藤井秀亮 西山琴恵 雨宮知子 岸本あかね
北村亜弥子 杉田美紀 西館好子

■スマセイキッズフォーラム
〜親子の絆の子守唄〜

開催日：平成30年9月30日(日)
主催：公益財団法人住友生命健康財団
会場：テイアラ(こうとう) 大ホール
出演：古謝美佐子 佐原一哉 川口京子 稲村なおこ
長谷川美佐子 西館好子

■「昭和歌謡」流行歌から見えてくる昭和の世相

開催日：平成30年6月21日(木)
会場：杉並公会堂小ホール

敬文舎から発行された「昭和歌謡」刊行を記念して、ご存知「長田暁二」先生のお話と懐かしい歌の数々をお届けしました。日本の唄の生き字引であられる長田先生の博識は学問や知識といったものだけにどまらず、人生のエピソードに彩られています。楽しいだけではなく生きていくことへの歴史をしみじみと味わうことができました。
聞き手として西館が参加しました。



VocaLArtsService Centert (VASC)
×
声とことばの機能メソッド

人間にとって最も痛ましい行為は戦争です。それはもっと残酷な殺傷と破壊だからです。どう理屈を並べようと戦争を肯定できるものはあません。人は皆幸せに生きるために生まれてきました。すべての人は母の声で育ちます。一人一人が本気で、声、ことば、心をうまく機能させることです。

開催日：平成30年7月8日(金)
会場：オリンピックセンター会議室
VASC主宰 磯貝靖洋

当たり前に生活をしてきた女性たちの言葉が子守唄に残っています。日本の子守唄が文学的にも優れているという所以は、日常の観察や複雑な心境を見事に反映され、それを子供への唄として表現していることです。
「子守唄という最初の言葉」として西館好子の講演会が行われました。後半は「話さない人は歌いましょうよ」という対談を磯貝靖洋氏と、終わって女性たちの合唱が披露されました。あたたかい会でした。

■ふれあいファミリーコンサート
〜北海道やアイヌの子守唄と童謡・唱歌〜

開催日：平成30年10月13日(土)
主催：国立青少年教育振興機構
会場：ザ・ルーテルホール
出演：稲村なおこ 雨宮知子 岸本あかね 北村亜弥子
杉田美紀 西館好子

常田富士男さん さようなら お父さん



まんが日本昔ばなしの常田富士男さんが平成30年、今年の夏の光の中で7月18日お亡くなりになりました。

日本子守唄協会では通称「常田のお父さん」として何度もご出演してくださいました。

旅にもご一緒し、遠くは吉岐の島から遠野までも楽しいお話とお酒を共にしてお付き合いいただきました。子供のころからおじいちゃんに憧れ早く年を取りたい…というのも長野の田舎で近所にいた通称お話し上手な「鹿爺ちゃん」に子供のころからあこがれていたそうです。同行二人のまま、人生を共になされた保子夫人によると、亡くなった当日はお風呂に入り、酸素が少し足りないというので吸入をし、とても静かに旅立たれたそうです。思い出は尽きません。いつかご紹介させていただきたいと思っています。

享年81歳。ご冥福をお祈りいたします。

西館好子



児童養護施設 みちのく・みどり学園新築への寄付 あなたのお力を、心を お届けください

子供の虐待が報道されない日は一日としてありません。惨忍な事件で目を覆いたくなる事件の被害者は幼い子供たちです。

その都度、これほど乱暴な生命軽視はない、恐ろしい事態は根絶すべきと論じられますが、減ることと根絶の糸口もなく繰り返され、子供たちは抵抗できないまま虐待は増え続けているのです。

日常茶飯事となった虐待が横行する国が果たして文明国なのか、豊かな国なのか。他人事とみんなが看過しているかぎり恥ずかしくてだれも天下国家など論じられません。親を信じて暮らしているのに完全に裏切られ、無心にいられる時期に防ぎようもなく虐待を受ける子供たちの事を自分の事としてみんなが考え、何とか手を差し伸べてあげたいと思います。

盛岡愛児会の「みちのくみどり学園」は虐待されて保護されている子供達が大勢います。私達日本子守唄協会では東日本大震災を契機に子供たちに歌を届けるというところからお付き合いが始まりました。

現代、子供たちを取り巻く環境はけっして明るい状態ではありません。ありのままに子供たちを受け入れ、安心した居場所の中で暮らし、そこから未来への夢や希望を持って世の中に出てほしいと祈らずにはいられません。

学園はもともとが病院の跡地で、今現在建物はずっかり老朽化してしまいました。子供たちの生活は一人が使えるスペースが本当に狭く、プライベートを守らなければなりません。

守るなどというわけには到底いきません。どんどん成長する子供たちをもっとのびのびとさせてあげたいと思えました。一人の時間を楽しくできるようなスペースを作って上げたいと思えました。施設の先生方もそんな話をしてから何年たつてしまっか。

子供たちに寄り添い、子供たちと一緒に暮らし、苦楽を共にしている施設の先生方の努力はそれは大変なものだと目の当たりにして頭の下がることばかりです。

皆が子どもたちの健康と幸せを願っています。自分では人生が決められない子供時代に虐待を受けた子供たちには何の罪もありません。子供たちが心を閉ざして暗い気持ちで暮らすとすれば、それは私達全員の責任です。

のびのび元気にあそび学ぶ子供たちの未来にほんの小さな優しさや応援をして上げられたらどんなにいいでしょう。

学園は建て替えのために5000万円が必要ですが、おかげさまでその半分は去年までに集まりました。お力を尽くさった皆様本当にありがとうございました。

今回は第二期の協賛金の募金を募ります。皆様、ご協力をお願いします。

【協賛金募金方法】

協賛金募金は、1口5,000円で1口以上のお振込みをお願いしております。

振込先 (名義はいつでも「社会福祉法人 岩手愛児会」)

◇ゆうちょ銀行 振替口座 02260-4-137774

◇みずほ銀行 盛岡支店 普通口座 1263172

◇岩手銀行 松園支店 普通口座 2158270

◇盛岡信用金庫 松園支店 普通口座 158406

※法人への寄付は寄付金控除を受けられます

連絡先及び担当者

社会福祉法人岩手愛児会 児童養護施設みちのく・みどり学園

岩手愛児会 会長 藤澤 昇

みどり学園 園長 西山秀則

事務局 主任事務員 新田雅彦 (募金関係担当者)

高橋伸広 (専任職員)

住 所 〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷11番地14

電話 019-662-5696 FAX 019-662-5695

E-mail michinoku@midori-gakuen.jp

URL http://www.ajji.or.jp

応援がとうござりまする方々

協会の活動にご協力くださいました皆様、ご寄付を有効に使わせて頂きます。これからも日本子守唄協会への応援をよろしくお願い申し上げます。温かなご支援を本当にありがとうございます。

2018年4月1日から2018年7月17日現在 五十音順

(敬称略)

「個人」

青山 司
赤坂 憲雄
あっちゃん
阿部 輝彦
池本 幸一
井坂 義雄
磯貝 靖洋
磯崎 文
市塚 廣
井出 存祐
井上 京子
井上 小太郎
猪木 直樹
岩井沢 玲子
内野 綾子
内野 経一郎
浦井 正明
枝廣 映子
海老名 香葉子
江村 清
大野 盛久
岡本 喜久穂
長田 暁二
小山内 スズ子
尾原 昭夫

小山 芳郎
加賀山 昭
風間 佳子
門本 浩子
神長倉 伸義
神山 利江
菊池 弥生
木崎 啓子
木下 由美子
木邊 円慈
久世 アキ子
剣持 英子
古川 洋文
古川 正裕
小林 忠
小林 初子
小林 玲子
小室 七子
近藤 征治
斎藤 桂子
斎藤 寿孝
斎藤 伸男
酒井 董美
坂野 紀多子
坂野 美恵子
佐々木 知子
佐々木 愛美
佐藤 厚行

佐藤 久光
沢田 茂子
清水 睦夫
霜垣 ユミ子
白石 晶子
末廣 照純
杉野 善彦
須崎 晃一
鈴木 夕ケ
鈴木 敏雄
砂山 一子
田井 二郎
高橋 宏子
高橋 寛
高松 榮子
實田 時雄
竹内 恵里
多田 式江
田邊 邦典
徳永 雅博
長沢 大
永田 亨
長縄 千鶴子
中野 和夫
生天目 喜子
西川 京子
則武 清司・美佐子
蓮田 太二

馬場 喜久雄・光子
日高 静枝
廣木 睦子
廣瀬 俊之
廣畑 見祐様・心香
福永 教正
藤木 隆宣
藤木 雅雄
藤澤 昇
文屋 信男
本條 秀太郎
前田 千恵子
増田 純子
増田 善弘
松田 一
松原 健之
真鍋 昌弘
三浦 敏昭
三浦 美智代
三浦 庸子
三上 智
宮川 久子
宮地 勝美
江藤 昭子
村井 繁雄
盛田 好一
谷内 迪子
矢野 信保
山口 栄
山口 泰祐
山田 直子
山中 宗一
山根 光恵
山本 ヤエ子
湯川 れい子
横沢 裕子
吉田 由美子
渡辺 あきお

「団体」

一般社団法人バリエーションアップ・ジャパン
株式会社アポロ・サンズホールディングス
株式会社海竜社
株式会社教育芸術社
セレモアホールディングス株式会社
東京神田青果市場株式会社
日進レンタカー株式会社
坊田かずまの会
みんよう春秋社
有限会社社夢



「寄付の応援を お願いいたします！」

日本子守唄協会の活動は、皆様からのご寄付に支えられております。すべての子ども達が希望に満ちた未来をつかめるよう、皆様からのお気持ちや寄付金に託して、様々な活動してまいります。

ご寄付をいただきました皆様には小冊子「ららばい通信」の送付、イベントのご案内、また活動報告をお送りさせていただきます。どうぞ時期や金額に関わらず、年間を通してご寄付をお願い申し上げます。ご寄付の詳細は、日本子守唄協会事務局までお問い合わせください。

皆様からのお便り・ご投稿お待ちしております。

◎子守唄について疑問に思うこと・知りたいこと、子育てについて思うこと、親子の思い出話などお送りください。思い出の写真なども募集しております。

◎あなたの町の地域活性化のための活動や育児支援活動、町ならではの活動など紹介したい情報がありましたら、ぜひぜひお教えください。「ららばい通信」を通じて地域の情報交換をしませんか？

◎皆様と共にららばい通信をより良いものにしていきたいと考えております。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

日本子守唄協会事務局

〒111-0053
東京都台東区浅草橋1-32-6 長尾第2ビル 4階
TEL 03-3861-9417
FAX 03-3861-9418
Eメール info@komoruta.jp
URL http://www.komoruta.jp